

正確を期するには、当然とるべき方法であるが、もし正確さに於て変りなく、しかも速かに裁つことの出来る方法があるならば、速いのがよい。そこで高等学校及びその他の教科書で現今用いている方法を分類して、比較研究すると共に、公式の価値及び必要性等を調査して、その最も簡単に正確な方法を決定し、本学学生の実習によって所要時間数の差を求めた。

3 日常に最も多く使用する服種が、簡単に正確に裁ち得られるばかりでなく、殆どあらゆる和服の裁ち方に用いて効果的であることを実証することが出来た。

23 和服の裁ち方の簡易化について

昭和女子大 牛込 ちゑ
黒滝 直子

1 日常所用の被服類の工作は、速かで正確な成果を得る方法が精巧な技術よりも必要である。この見地から近代及び現在採られている和服の裁ち方を検討してその簡易化を見出そうとしたものである。

近代及び現在の和服の裁ち方は、先ず総要量、各部の裁切り寸法などを公式によって計算し、得た所の寸法に折りたたみ、計算の間違ひのないのを確かめてから裁ち切るのが、学校での指導法では一般に用いられている。